

小学校 第5学年 外国語科 学習指導案

北海道旭川市立愛宕東小学校
主幹教諭 布施 朋子

単元名

Lesson 9 My Hero, My Dream Friend (7時間)

単元の
ねらい

あこがれの人をしようかいするために、その人の職業やできることや得意なこと、特ちよ
うについて聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。また、例文を参考
にしてあこがれの人に関する文を書いたり、アルファベットの小文字を書いたりするこ
ができる。(地下1階建ての文字、そのほかの文字)

本時の
ねらい

あこがれの人や、友達になってみたい人を紹介するワークシートを作成する。(第5時)

指導時期

2月～3月

デジタル教科書・教材活用の意図・目的

この単元は5年生最後の単元であり、これまでの学習を振り返りながら、既習事項を用いて発表をし、自信をもって6年生での学習に向かえるようにしたい単元である。そこで、積み重ねてきた学習内容を生かすために、デジタル教科書の活用は効果的である。

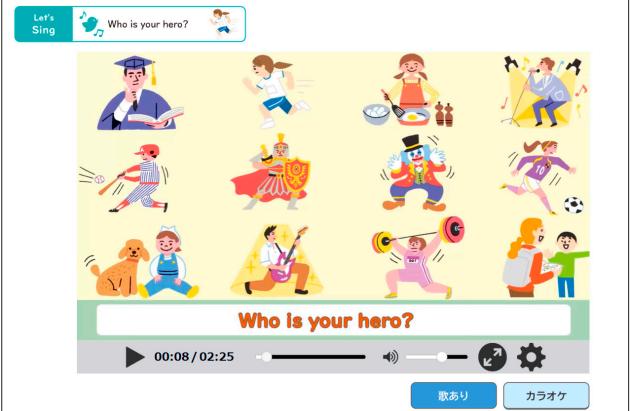
「指導者用デジタル教科書（教材）」については、単元最後の姿のモデル動画を学級全員で視聴し、意見を出し合うことにより、児童自らがめあてをつくり出せるように活用したい。

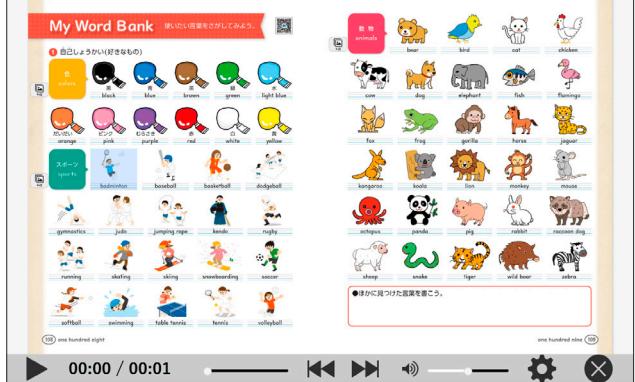
また、「学習者用デジタル教科書」も活用することにより、自分に合った学びが可能になる。これまでの単元で使いたい表現を見返したり、My Word Bank 等で発音の確認をしたりすることで、児童一人一人が納得のいく発表につなげたい。

これまでの指導の中では、授業者一人で児童からの質問に答えるには多くの時間がかかった。「学習者用デジタル教科書」の活用により、授業中または家庭学習で動画や音声を用いて効率よく準備を進めることができくなる。学んだことを自分のものにしていくために、どのようにしてデジタル教科書を活用するのかを以下で紹介していく。

本時（第5時）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「指導者用デジタル教科書（教材）」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 <p>あいさつ（2分）</p> <p>めあての確認（1分）</p>	

活動内容		デジタル教科書・教材の活用
導入	<p>Let's Sing (3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 注目させたい表現 (be good at/can)、形容詞 (brave/cool/cute/ funny/kind/smart/strong) 等を確認してから歌い、よく慣れ親しみながら歌えるようにする。 「書くこと」もある時間なので、文字を見ながら歌うよう伝える。 	 <ul style="list-style-type: none"> 活用（指導者用）：動画を投影し、クラス全体で視聴する。
展開	<p>Final Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画を視聴し、発表で工夫している点などを確認する。(10分) 紙面の英文を確認し、音声を聞きながら読む。(4分) 	 <ul style="list-style-type: none"> 活用（学習者用）：複数回視聴することで、話し方・表情・ジェスチャーに加え、聞き方・互いの発表を称賛しあうところ等について、児童自らが気付くようにする。  <ul style="list-style-type: none"> 活用（学習者用）：児童の実態に応じて、英文を読んでから音声を聞くことも効果的である。

活動内容		デジタル教科書・教材の活用
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●巻末のワークシートを作成する。(15分) ●必要に応じて「学習者用デジタル教科書」を用い、作成に生かす。 <p>発表に向けての練習（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ペア、グループ、一人でなど、児童が選択して発表に向けての練習を行う。 ●ALTが来校している場合は、ALTに対しても発表するよう促す。ALTには、称賛やアドバイスを依頼しておく。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●活用（学習者用）：教科書巻末のMy Word Bankや絵カード、教科書p.100のLet's Listenの形容詞、Lesson 5の学習内容など、活用できそうな箇所を知らせておく。 ●活用（学習者用）：一人で練習する場合は、録音や録画するなどして、本番に生かすことができる練習になるようにする。
まとめ	<p>ふりかえり（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本時で学んだことをふりかえり、次の時間での発表の目的を決めて、記入する。 ●次の時間に児童が自信をもって発表に取り組むことができるよう、よかったところを具体的に褒める。 	

デジタル教科書・教材を活用したことで得られた効果

本時では、最初は「指導者用デジタル教科書（教材）」を活用し、一斉学習を行う。最後の発表に向けて、モデル動画から工夫している点などを様々な視点から見つけ出し、活動のよいイメージを学級全体でつかむためである。その後、ワークシートの作成では、必要に応じて「学習者用デジタル教科書」を用いることで個別最適な学びへつなげていく。自分が伝えたいことに合った英語で伝えられるようになることで、自信をもたせたい。

また、全てをデジタル教科書・教材で行おうとするのではなく、特に語彙については教師やALTのサポートにより新たな表現を使うことにも挑戦させたい。